

Daily Macro Economic Insights

国際収支統計(2025年6月)

2025年8月12日

経常収支のプラス幅縮小: 第一次所得収支縮小が寄与

財務省から、2025年6月の国際収支統計が公表された。6月の経常収支(季節調整値、以下同)は、2兆3,979億円(前月比－4,202億円)と増加した(図表1)。原数値では＋1兆3,482億円(前年同月比－4,154億円)となった。

輸出(原数値)は8兆9,627億円(前年同月比－2,240億円)と減少した。商品別には自動車、鉄鋼、非鉄金属が減少した。地域別では対北米・大洋州向けで減少した。米国の関税引き上げの影響が出ている。輸入(原数値)は9兆105億円(同＋230億円)と増加した。商品別では医薬品、通信機、半導体等電子部品が増加した。地域別ではアジア、西欧からの輸入が増加した。原油価格(財務省算出値)は、ドルベースでは70.21米ドル／バレル(前年同月比－20.2%)、円ベースでは6万3,602円／キロリットル(同－26.6%)とそれぞれ減少した。

原数値でみたサービス収支は6月に－1,542億円(前年差＋1,848億円)とマイナス幅が縮小した。6月の訪日外国人旅行者数は337万7,800人(前年比＋7.6%)、出国日本人数は105万4,000人(前年比＋13.3%)と増加している。

原数値でみた第一次所得収支は、＋1兆5,007億円(前年差－1,597億円)とプラス幅が縮小した。「その他投資収益」が黒字幅の縮小により黒字幅縮小が寄与した。季節調整値では、＋3兆829億円(前月差－4,556億円)となった。

季節調整済みでみると、サービス収支・第一所得収支が経常収支減少に寄与した。

図表1: 経常収支(名目・季節調整値)の内訳

(単位: 億円)

		経常収支							
		貿易・サービス収支					第一次 所得収支	第二次 所得収支	
			輸出	輸入					
2023年度		90,941	▲ 232,681	▲ 178,716	997,898	1,176,615	▲ 53,964	353,971	▲ 30,349
2024年度		261,664	▲ 69,174	▲ 36,866	1,020,694	1,057,560	▲ 32,307	373,388	▲ 42,550
2025年度		303,771	▲ 66,247	▲ 40,480	1,062,390	1,102,870	▲ 25,767	417,114	▲ 47,095
	前年差	42,107	2,927	▲ 3,614	41,696	45,310	6,540	43,726	▲ 4,545
2024年	4月	25,784	▲ 5,801	▲ 4,249	85,642	89,891	▲ 1,552	35,330	▲ 3,746
	5月	24,625	▲ 7,830	▲ 4,279	87,061	91,340	▲ 3,551	35,602	▲ 3,147
	6月	21,497	▲ 6,752	▲ 4,030	89,542	93,571	▲ 2,722	32,135	▲ 3,886
	7月	28,305	▲ 7,186	▲ 4,023	90,894	94,917	▲ 3,163	38,177	▲ 2,686
	8月	29,670	▲ 4,651	▲ 2,322	87,612	89,934	▲ 2,329	38,808	▲ 4,487
	9月	14,514	▲ 6,759	▲ 3,151	86,938	90,089	▲ 3,608	25,874	▲ 4,600
	10月	23,545	▲ 1,772	▲ 1,452	87,677	89,129	▲ 321	30,051	▲ 4,734
	11月	29,716	356	567	87,260	86,693	▲ 211	33,858	▲ 4,498
	12月	28,823	190	704	90,353	89,648	▲ 514	32,527	▲ 3,894
2025年	1月	20,214	▲ 16,738	▲ 15,289	85,180	100,469	▲ 1,449	40,980	▲ 4,028
	2月	29,260	▲ 932	2,299	95,949	93,650	▲ 3,231	33,371	▲ 3,179
	3月	27,883	▲ 5,189	▲ 2,074	90,469	92,543	▲ 3,115	37,524	▲ 4,452
	4月	23,068	▲ 3,279	▲ 1,560	87,889	89,449	▲ 1,719	30,968	▲ 4,621
	5月	28,181	▲ 1,745	▲ 1,390	85,932	87,322	▲ 355	35,385	▲ 5,459
	6月	23,979	▲ 70	1,209	88,494	87,285	▲ 1,279	30,829	▲ 6,779
前月差		▲ 4,202	1,675	2,599	2,562	▲ 37	▲ 924	▲ 4,556	▲ 1,320

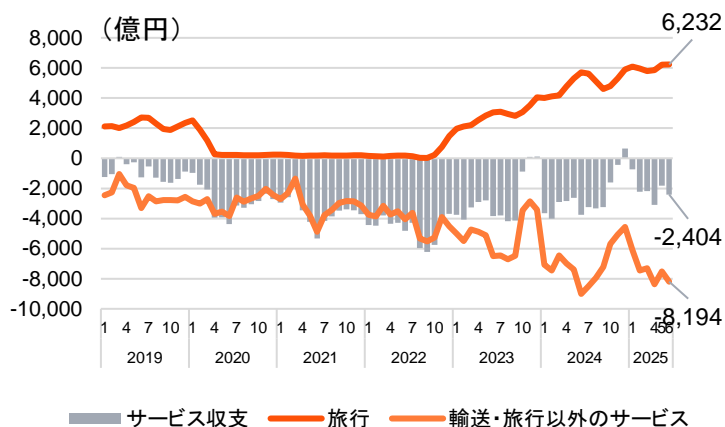
サービス収支のマイナス幅が縮小、知的財産等使用料が減少

貿易収支がマイナスであることが長期化する中、インバウンド需要、知的財産・デジタル関連の動向が注目されるサービス収支を確認しておこう。趨勢的な動きをみるため、原数値を3か月移動平均でみたのが図表2である。6月のサービス収支は-2,404億円(前月比-575億円)とマイナス幅が拡大した。内訳をみると、旅行収支は+6,232億円(同+15億円)と2か月連続で6,000億円台となった。知的財産・デジタル関連などを含む「輸送・旅行以外のサービス」収支は-8,194億円(同-677億円)と2か月ぶりにマイナス幅が拡大した。この「輸送・旅行以外のサービス」収支の内訳をみたのが図表3である。

- ① 知的財産権等使用料の2019年から2022年の傾向をみると概ね+700億～+3,500億円程度で推移していた。6月は+2,391億円(同-344億円)となった。2,000億円台での推移となっている。
 - ② 6月の保険・年金サービスは、-2,763億円(前月比+4億円)となった。2019年1月の-453億円から、2024年10月の-2,748億円まではほぼ一貫してマイナス幅が拡大していた。その後4か月連続でマイナス幅が縮小していたが、足元では再びマイナス幅が拡大傾向にある。
 - ③ デジタル関連とされる通信・コンピュータ・情報サービスは、-900億～-2,500億円程度の間で推移していた。6月は-2,130億円(同+40億円)となった。過去の傾向対比で大きめのマイナスが継続している。
 - ④ その他業務サービスは、-1,200億～-5,800億円程度で推移している。6月は-5,438億円(同+142億円)とマイナス幅が縮小した。この「その他業務サービス」の内訳を図表4でみると、6月の技術・貿易関連・その他業務は-1,028億円(前月比-17億円)とマイナス幅が拡大した。研究開発は-1,387億円(同+26億円)となった。専門・経営コンサルティングは-2,120億円(同+60億円)となった。趨勢的には2021年以降のマイナス幅は拡大傾向にある。
- 6月は知的財産等使用料の受け取りが減少し、サービス収支のマイナス幅が拡大した。

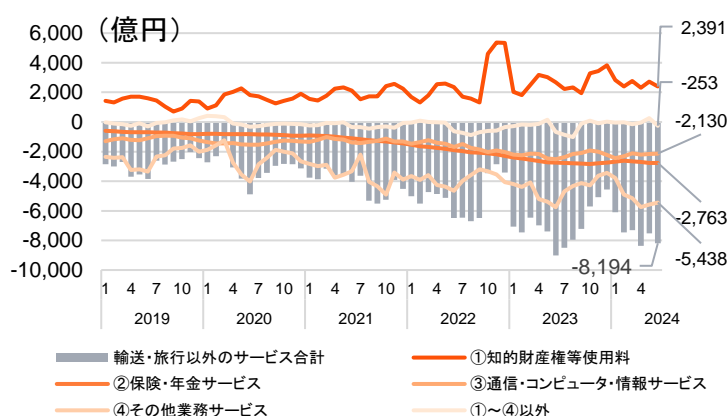
(PwC Intelligenceシニアエコノミスト 伊藤 篤)

図表2: サービス収支の推移 (3か月移動平均)



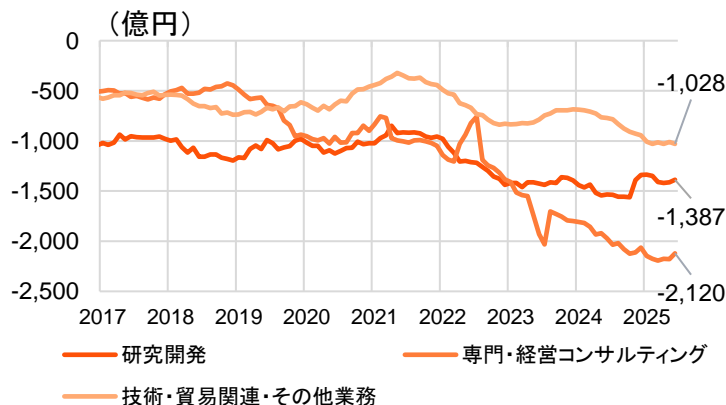
出所:財務省「国際収支状況」、日本銀行「国際収支統計」より筆者作成。

図表3: 輸送・旅行以外のサービス収支推移 (3か月移動平均)



出所:財務省「国際収支状況」、日本銀行「国際収支統計」より筆者作成。

図表4: その他業務サービスの内訳 (12か月移動平均)



出所:財務省「国際収支状況」、日本銀行「国際収支統計」より筆者作成。

片岡 剛士

チーフエコノミスト、上席執行役員
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

伊藤 篤

シニアエコノミスト
PwC Intelligence
PwCコンサルティング合同会社

PwC Intelligence 統合知を提供するシンクタンク
<https://www.pwc.com/jp/ja/services/consulting/intelligence.html>

PwCコンサルティング合同会社

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー Tel: 03-6257-0700